

THE BULLETIN OF THE MIE ACUPUNCTURE AND MOXIBUSTION SOCIETY

一般社団法人 三重県鍼灸師会

2023 WINTER

第131号

会 報

人を幸せにする鍼灸医学

- | | |
|--------------------|-------------------|
| P 2 役員挨拶 | ／ P 4 研修会報告 |
| P 5 日鍼会全国大会 | ／ P 6 良導絡・機能訓練指導員 |
| P 8 防災訓練 | ／ P 9 松阪マラソン |
| P 10 部長会議・東海北陸ブロック | ／ P 12 師会長会議 |
| P 13 理事会報告 | ／ P 14 編集後記・訃報 |

表紙写真 長太の大クス

「新たな1年を迎えて」

会長 岡田 賢

明けましておめでとうございます。この新年号が皆様に届きます頃には、「明けましておめでとうございます。」



も聞き慣れ・いい慣れ・見慣れているとは思いますが、この挨拶文、元日に書いていますので、自然なフレーズとして使わせていただきます。会員の皆様におかれましては穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

先ほど、ちょうど車のラジオから流れていた新型コロナウイルスに関するニュースですが、約3年前に日本で初めての感染者が確認されてから、本日1月1日現在で我が国における累計感染者数は29,033,843人、現在感染者数7,856,019人、新規感染者数86,924人ということは、国民の約13人に1人は現在感染者で、3.5人に1人は罹患したという計算です。この新型コロナウイルスが世界的に流行しだしたころのニュースで、ドイツの環境衛生学者の「新型コロナウイルス感染は、国民の6割以上が罹患しなければ収まらないだろう」というコメントが頭に残っています。そんなバカなことがあるか?・・それが当時の正直な感想でしたが、現実味を帯びてきたことに驚きを隠せません。私自身も昨年8月に罹患し、39度を超える発熱と带状疱疹を発症したのかと思われるほど胸部・腹部の痛みで2日間寝ることができませんでした。

政府は、新型コロナウイルス感染に関する公費の医療負担は今年3月までとし、感染症分類5類への変更については今春以降議論を本格化させるということですが、医療費等に関する様々な歪みが表面化し、国民生活にまた感染とは別の負担が押し掛かるのではないかと危惧しています。何はともあれ、新型コロナウイルス感染の早期収束を祈るばかりです。

長引くコロナ禍において、昨年9月にマ師会と連名で「あはき施術所への物価高騰による支援拡充に関する要望書」を県に提出いたしました。

厚生労働省医政局総務課、同医政局地域医療計画課、同医政局医療経営支援課の「令和4年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱い及びコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」で、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、「臨時交付金」とする）の活用が可能な事業（例）」の中に、『医業類似行為

（あはき業等）を行う事業者に対する経営支援」が挙げられていましたので、その旨要望書に明記し陳情いたしました。残念ながら今回は見送りとなりました。今後もこの臨時交付金制度が続く限り、鍼灸業界も確実に活用できるよう陳情を続けていきます。

話は前後しますが、毎年夏期に、（一社）三重県鍼灸師会と三重県鍼灸師連盟から「国・県の政策・予算に関する要望」について自由民主党三重支部連合会に提出しており、令和5年度の要望として、「フレイル予防事業へのはり師・きゅう師の参入について」資料を添え、8月30日に陳情を行いました（私は新型コロナ感染で欠席）。昨今のコロナ禍で自宅での生活を強いられ、外出機会が減ることにより筋力が低下する、所謂フレイルの発症が懸念される中、予防医学を駆使する鍼灸師が参入できるような三重県独自のフレイル予防事業の検討をお願いするとともに、プレゼンティーズム（疾病就業と言われ、仕事を休むほどではないが労働効率を下げる症状を抱えながら非効率的な業務に従事すること）による不定愁訴の多くが、はり師・きゅう師の得意分野であり、鍼灸施術による健康維持増進が結果として医療費削減に繋がる点もアピールしていただきました。また、（公社）日本鍼灸師会と日本鍼灸師連盟からは、「マイナンバーカードにおける健康保険証機能に付加するはり師、きゅう師の要望」「機能訓練指導員に関する要望」等を提出していますので日鍼会 HP 等でご確認下さい。

さて、感染対策に留意した状況下ではあるものの、昨年度から少しずつ対面での学会・研修会・会議等が開催され始めました。対面は相手の表情、顔色、雰囲気から、より深くコミュニケーションがとれ、改めて人と人の繋がりを実感する機会にもなりました。長引くコロナ禍で人との交流が途絶えがちになり、“人と寄り添う”ことの大切さが叫ばれています。鍼灸は四診を駆使して心身の状態を把握し、“手当て”を第一に考えるやさしい医学であることや未病治の考え方を国民に発信し続けることが、国民の「真の健康」につながると確信し活動していきたいと思っています。

西洋医学が「人の病気を治す医学」なら、鍼灸医学は「人を幸せにする医学」といわれるよう、一鍼灸師として貢献できることを考えながらの1年にしていきます。

最後になりましたが、会員の皆様の今年1年が、楽しく充実した1年になりますようお祈りしますとともに、本会活動に是非ともご協力いただきますようお願いいたします。

日本あはき師厚生会～労災保険で備えてあんしん～



飛躍の一年に

副会長／法人管理委員長
新谷 有紀



2023 年は「卯年」です。平らに進むことも大事ですがときには気持ちを上げ“ぴょん”と跳ねてみたいと思いますね。会員皆さまにとって更なる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。

さて、昨年後半は、ブロック会議、三県合同研修会、全国大会に参加し久しぶりに先生方にお会いして話を伺う機会がありました。また、延期になっていた松阪マラソンが開催され大勢のランナーにケア活動を行うこともできました。

今後、各制度の変更に伴う業務、法人運営の見直し等課題は山積みですが、会員のため鍼灸を広め鍼灸師の地位を高め将来に継いでいく。という目的の基本を忘れず岡田会長を中心に役員一同務めてまいります。会員皆さまへのお願いとして三重県鍼灸師会に在籍していただくことは組織の強みとなり支えになります。どうぞご協力をお願いいたします。



顔の見える協力体制構築～夏期・冬季表敬訪問～

毎年夏と冬の2回、時間の許す限り四日市・津方面の関係官庁及び関係機関・保険者へ訪問を行っております。今後の多職種連携、地域貢献の拡大目的に少しずつですが、新規の訪問先も広げています。

訪問先での情報収集を行うとともに、鍼灸師として、健康・生活を支える医療・予防で地域社会に貢献し、疾患に対する施術のみでなく、機能訓練指導、介護予防運動指導、認知症サポーター等の受講等で、患者の生活機能全体の水準を上げる活動の紹介や、災害時の取り組み等のお話しもしています。

訪問し顔の見える関係、協力体制構築の準備をし、鍼灸師会として、地区の鍼灸師集団として、鍼灸師個人として出来る事、様々な段階において、ぜひ皆さまのご協力をいただくとともに、様々な情報を提供していただき、次回の訪問時に提案させていただきたいと考えております。

【今年度の訪問先】

- ◆ 三重県庁 三重県医療保険部 （医療保険総務課・長寿介護課・医療政策課・感染症対策課・国民健康保険課）
- ◆ 四日市市役所 健康福祉部 （保険年金課・介護保険課・健康福祉課）
- ◆ 全国健康保険協会 三重支部
- ◆ 三重県建設国民健康保険組合
- ◆ 三重県健康保険組合連合会
- ◆ 三重県後期高齢者医療広域連合
- ◆ 三重県国民健康保険団体連合会
- ◆ 三重労働局労働基準部 労災補償課
- ◆ 損害保険料率算出機構
- ◆ 四日市自賠責損害調査事務所
- ◆ 厚生労働省 東海北陸厚生局三重事務所
- ◆ 四日市保健所
- ◆ 津保健所
- ◆ 三重県社会福祉協議会
- ◆ 津市スポーツ文化振興部
- ◆ （公社）三重県医師会
- ◆ （一社）三重県薬剤師会
- ◆ （公社）三重県柔道整復師会
- ◆ 市立四日市病院（サルビア）
- ◆ 参議院議員 吉川ゆうみ事務所
- ◆ あつこ保険事務所

伝え、しっかり届けるために

副会長／保険委員長
楠原 秀一



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナ禍に加えて紛争による社会環境の変化もありました。繰り返す感染の波を注視しつつ、皆さまの協力を得てリアルとデジタルを融合し、予定の行事を執り行うことが出来たことを感謝いたします。変化の激しい環境への対応、多様化する価値観のなかで、東洋医学の人、時、場所に応じて物事を全体的にとらえて調和を重視する施術は、多くの方に受け入れられるようになってきていると思います。

しかし、メッセージを発信すれば一応は届くでしょうが、そこには鍼灸を「受け入れる」用意があるからこそ、鍼灸の良さが伝わります。「受け入れる」用意があるところには、鍼灸への信頼があるため、メッセージが伝わるのでしょう。鍼灸の治療がより広く伝わるように、日々の研鑽はもちろんのこと、皆さまとともに信頼される鍼灸師が集まっている三重県鍼灸師会として活動を行っていききたいと思います。

本年も宜しくお願い申し上げます。

～療養費制度に関する周知事項～

毎年療養費取り扱い会員向けに定例で行われている保険に関する講習会当会保険委員長の楠原先生にお話をいただきました。令和4年6月1日改定に伴う申請書記入についての説明や、10月1日より一定以上の所得を有する方については医療費の窓口負担割合が2割となることから、療養費についても同様の取扱いとなるため、しっかり確認いただきたい旨、さらに今年度4月～9月までの主な返戻理由についてのお話をいただきました。また、国保連合会療養費審査会の審査委員としてご活躍中の天野治先生にもご参加いただき、保険制度に関する補足説明や、自賠責にまつわる「ここだけの話」をお話しいただくなど、多岐にわたる内容の研修会となりました。質疑応答においては、同意書をいただく際の病院との信頼関係づくりについて、経験ある先生方からのリアルなエピソードをご紹介いただき、大変勉強になりました。

療養費制度に関する定期的な知識のアップデートは必須事項です、われわれ一人一人が自覚を持ち、適正な運用を心がけたいものです。
(報告: 学術委員長 奥田一道)

今回で55回目を迎える愛知県、岐阜県、三重県合同の学術研修会が開催されました。今年度は三重県が担当し、人数制限をかけながらではありますが、講師の先生方をお二人、東京からお招きして完全対面形式にて開催し、現代医学的な考え方を中心としたお話を伺いました。3県から21名の参加者があり、久しぶりに会場である三重県鍼灸師会館に活気が戻った研修会となりました。

第1部の砂川先生からは、生理学的な最新のエビデンスをご紹介いただき、我々鍼灸師の日常診療に直結する示唆に富んだ内容を、具体的に、かつ分かりやすくお話しいただきました。特に、経穴部位とそこに存在する肥満細胞の関係や、鍼灸刺激を用いた抗ストレス作用に関するエビデンスなどは、個人的に大変興味深く拝聴させていただきました。

第2部の似田先生からは、先生の臨床経験と、ご研究に基づいた解剖学的なエビデンスをベースとした現代医学的な鍼灸治療方法を、「膝」への施術を中心とした具体的な手法をご紹介いただき、また参加者とコミュニケーションをとりながらの和やかな雰囲気のもと、大変貴重な実技指導をいただきました。実技供覧は、参加者全員がその場で見られるということは難しいことが多いため、今回はスマホで撮影している画像をプロジェクターを使用して、会場の壁面に投影するという試みを採用し、参加者の方全員に可能な限り鮮明な画像をリアルタイムでお届けしてみました。その後の意見交換会も久しぶりに顔を合わせて開催することができ、講演内容+αのお話を伺えるなど、充実したひとときとなりました。

次年度は愛知県での開催になります、まだまだコロナ禍は終わりの見えない状況ではありますが、鍼灸師としての学びを止めず、自己研鑽に努めたいと思います。
(報告: 学術委員長 奥田一道)



講義を行う砂川先生



実技を行う似田先生



懇親会にて

日本鍼灸師会全国大会 in 愛知

令和4年12月3日4日 ウィンク愛知

～ヒトを診るー東洋医学の全体観ー～

今回のテーマは「ヒトを診るー東洋医学の全体観ー」でした。コロナ禍ということもありライブ配信もされ多くの方が全国から参加されました。またアーカイブ配信もあり、当日拝聴できなかった講演を後日好きな時間に好きな場所で拝聴できました。受講したい講演が重なる事があったので、ありがたいなと思いました。

今大会では、三重県鍼灸師会として会場設営や会場案内、配信をはじめ様々な運営ボランティアとして、愛知県鍼灸師会のサポートをいたしました。2日間にわたり、全国各地からの来場者も多く、とても賑わっておりまして。また、専門学校の学生参加者も多く、運営として会場案内をする中で、今後の鍼灸師の活躍に期待したい気持ちが湧きました。自宅に居ながら参加できる zoom 配信もとても便利ですが、現地会場にて先生方と直接お会いし近況などを交えお話が出来るのも良いことだと再認識いたしました。現地会場には2カ所に企業出店ブースが設けられました。(株)セイリンをはじめ(株)山正、日進医療器(ユニコ)など様々な企業が出店しておりました。商品を手に取り、担当者と話をしながら購入が検討できるのも全国大会での醍醐味のように感じました。皆さまも次回令和5年10月21・22日に大阪府泉佐野市での全国大会では現地で体感してみてください。

また、今大会で一番印象に残っている演題は「災害時の支援」についてです。災害時、鍼灸師として支援をするにも個人で行うのか、災害支援鍼灸マッサージ合同委員会(DSAM)をはじめAMDA、災プロ、鍼灸地域支援プロ、はり灸レンジャー、東京路上鍼灸チーム TRAST、プロジェクトさとわ等の団体の一員としておこなうのか様々な選択肢があります。しかしこれら全ての鍼灸支援活動が連携できるようになる事が今後の鍼灸師に求められることだそうです。鍼灸師は被災地にて、被災者支援も出来れば自衛隊員、医師、看護師など支援者のケアも出来る存在です。今後、いつかは起こるであろう南海トラフ地震も見据え、鍼灸業界全体が良い方向へ進んでいければと思います。(報告：青年副委員長 堀田三華子)



開会式



シンポジウム



会場にて

第72回(公社)全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会

鍼灸学の次代展望

ー経験から学び、持続可能なエビデンスをつむぐー

2023年6月9日(金)～6月11日(日)

会場：神戸国際会議場



第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会

全国大会in 近畿

「わが街、はり・きゅうのある暮らし ～バック・トゥ・ザ・鍼灸～」

2023年10月21日(土)・22日(日) 現地開催

会場：スターゲイトホテル関西エアポート(大阪府泉佐野市)



全国大会in近畿PV

～バイデジタルOリングテスト BDORT(Bi-Digital O-ring Test)～

日本良導絡自律神経学会中部支部会の研修会が名古屋市金山の会場で行われました、三重県鍼灸師会会員の丸山源司先生の「バイデジタルOリングテスト」をテーマの講演に参加しました。日本良導絡自律神経学会中部支部研修会は、毎月第三日曜日に開催され、午前は良導絡基礎研修、午後からは、良導絡だけでなく、様々な分野の講師を迎えて講演会を行っています。今回は、「バイデジタルOリングテスト」です。Oリングテスト(正式名称: Bi-Digital O-ring Test)は、指で作った輪(O-リング)が、開くかどうかというシンプルなチェック法で、医療現場では西洋医学的補助診断法として、一般の人では、飲食物や衣類、装飾品などが自分の体に合っているかどうか、健康にプラスになるのか、マイナスになるのか、といったことを調べる手段として利用されています。

O-リングテストは、大きく二つの現象を利用して診断で用いられています。一つは、「体の異常部の体表面に触れると、その刺激が脳に伝わり、筋肉の抵抗が弱まるという現象、もう一つは、「2つの同一物質間の電磁波共鳴現象」です。また、O-リングテストで指を診断に使うのは、手の指が、ペンフィールドの脳地図に見られるように、大脳皮質の感覚野と運動野において、体の他の部位に比べて大きな領域を占めており、体の部位で一番精度の高いセンサーとして働いているからであり、またテストを続ける上で疲れの影響が少なく、誤診が避けられるためです。O-リングテストは、基本は二人一組で、チェックする人(助手)が指で輪を作りテストする人(検者)も指で輪を作ってチェックする人(助手)の指の輪を引っ張り、その輪が開くかどうかで判断します。体の異常部位の体表面に指先で触れると、その刺激がすぐに脳に伝わり、もう一方の手の指で作ったO-リングが、指先の筋肉の力が弱まることによって開きます。体にとって有害なものに触れた場合も同じで、触れたものが体にとって有害であると脳が判断すると、その反応が指先に伝わり、O-リングが開くという反応が現れます。

丸山源司先生は、バイデジタルOリングテストを考案した大村恵昭先生に直接教えを受け40年。ひたすら鍼灸師として臨床にどう生かすかということを追いかけてきました。大村先生のお膝元ニューヨークコロンビア大学での学会発表、セルビアのベオグラードでの学会発表。又、国内では東京大学での学会発表を三度、昨年BDORT岐阜医学会での発表をされました。また黒野保三先生の生体制御免疫疾患班副班長として約10年間免疫に関する研究発表を相当数行い。国際医学会、日本医学会での研究発表を行っておられます。丸山先生がこれまで蓄積してきたものを皆さんに知っていただき、Bi-Digital O-ring Testで出来ることをお伝えし、日々の臨床に少しでもお役に立てば、大村教授に対する恩返しにもなる。との事で、今回のご講演をして頂きました。今回の丸山源司先生の講演は、バイデジタルOリングテストの発見と開発の経緯・メカニズムに触れ、可能な限りの科学研究、西洋医学的研究の上に成り立っている事を述べ、Oリングテストの基礎、から始まり、実技のやり方、方法を学びました。私たち鍼灸師の臨床においても、鍼灸 + Oリングテストができれば大変有効な治療方法だと感じました。

それにしても、丸山先生は、お元気で、頭脳は冴えわたりパワフル全開です。研究、そして超忙しい治療院臨床をこなし、これからの課題研究は、「老化について」だ。とまだまだ高見を目指していました。

(寄稿: 四日市支部 仲家栄一)



講演を行う丸山先生



参加者同士での実技風景

～鍼灸師の新たな職域、機能訓練指導員～

年末に、2日間の実務研修が東京都柔道整復師会館で開催されました。会場50名、オンライン100名のハイブリッド開催でしたので、コロナ増加の影響も考え、オンライン受講を選びました。機能訓練指導員とは、「デイサービス等で要介護・要支援の利用者様一人ひとりの心身の状態に合わせて計画を立て機能訓練を行い、介護職が機能訓練を行う指導をします。定められた国家資格を持つ者が行える介護保険サービスでの仕事で、役割を意味する仕事」です（平成30年より「はり師・きゅう師等」も機能訓練を行えるようになりました）

私は20年ほど前に勤めていた接骨院が、デイサービスとグループホームを開設した関係で、柔道整復師と一緒に機能訓練を5年ほどお手伝いしていました。その経験から機能訓練への興味があり、今回の研修を受講しました。研修内容は「対象者アセスメント」「認知症サポーター養成講座」「高齢者の食と栄養と筋育」「口腔機能と嚥下機能」「安全管理と運動」「BPSD（周知症状）と中核症状」「MCI（軽度認知障害）」など多岐にわたりましたが、分かりやすく充実した講義をしていただきました。

今回はベーシックコースと言う事で講義が中心でしたが、次回アドバンスコースという上級コースが、ディスカッション中心で4日間の研修があるそうです。タイミングが合えば受講したいと思える良い講習会でした。今後、来院されている患者様が高齢になられる時に、介護の知識や運動指導、痛みに対するプロとしてさらに手助けできるように準備していきたいと考えています。その為に、普段から学ぶ姿勢を維持していこうと感じました。

（報告：四日市支部 伊藤 良）

介護予防運動指導員と機能訓練指導員の違いとは？

会員のみなさまの中には、介護予防運動指導員を取得されている先生方が多くいます。この資格は東京都健康長寿医療センター研究所が発行する資格で、利用者の方一人ひとりに合った介護予防プログラムを考え、実際に筋力トレーニングや口腔訓練などの指導を行います。一方、機能訓練指導員は機能訓練計画表を作成し、その計画表にそって本人に機能訓練を行います。医療資格などがベースの職種であり、資格ではありません。業務内容は似ていますが介護予防運動指導員、機能訓練指導員ともに高齢化社会と共に社会ニーズが高まり求人も増えています。未受講の方はぜひ受講してみてください。

NELS 受講状況について

さて、かねてよりご案内しておりますNELS（日本鍼灸師会Eラーニング研修制度）ですがご活用いただいているでしょうか？

令和4年12月10日現在、三重県鍼灸師会会員においては、NELS受講中の方が12名、うちCFS（臨床基礎研修制度：Clinical Foundation System）受講済みの方が7名、LES（生涯研修制度：Lifelong Education System）受講済みの方が2名となっています。各研修コースを修了した方には、クイズ形式で簡易テストを受けていただき、合格した方にはデジタル修了証が授与されます。さらに次のコースへ進み、ステップ・アップしていきます。また令和4年度も引き続き、生涯研修制度においては15単位で修了申請をすることができる特例措置があり、NELSでの受講状況も単位としてカウントされます。NELSについてはオンライン環境さえあればどこでもスキマ時間で受講できるシステムになっていますので、是非ご活用ください。（学術委員会）

CFS 内容(抜粋)

鍼灸師を守るためのリスク管理、カルテの書き方、鑑別総論、プロフェッショナリズム、依頼状の書き方、頭痛・慢性痛の鍼灸治療など

LES 内容(抜粋)

腰痛の診方、頸の痛みの診方、肩関節痛の診方、膝痛の診方、肩関節痛の鍼灸治療、膝痛の鍼灸治療、悪性疾患の鑑別、診療ガイドライン、めまいなど

PDS 内容(抜粋)

未病マスター講座、経営講座、オムニバス講座、危機管理、知的財産など

～避難生活に役立つセルフケア～

2020年の県との災害時における業務提供に関する協定締結後はじめてとなる防災訓練が行われ、鍼灸師会とマッサージ師会（尾鷲市）で2会場に分かれ訓練に参加をさせていただきました。

「避難者の心身ケアと啓発訓練／刺さない鍼（パイオネックス・小児鍼）によるツボセルフケアの指導」をテーマとして参加をしました。活動内容は、エコノミー症候群予防のセルフケアとして、全日本鍼灸マッサージ師会が提唱しているエコノミークラス症候群予防の「一畳体操」を紹介しました。狭い場所で簡単に誰でも行えるとてもよく考えられた体操です。

また、不安・不眠・イライラ・足のむくみ・胃腸の不調について簡単にできるツボセルフケアを指導しました。

実際の避難所のスペースは、断熱材代わりの発砲スチロールのマットと毛布があるのみで、その狭くて硬いスペースで、数日を過ごさなければいけないかと思うと、身体も心もこわばっていきそうだなと感じました。避難者役の地元の方々は約1時間程度でしたが、同じ場所に窮屈な姿勢で座っているのが辛く身体がむずむずしてきていたようで、一畳体操を紹介し「一緒に体を動かしましょう」と声をかけると、皆さん進んで参加していただき、とてもスッキリすると喜んでいただきました。また、ツボセルフケアでは、ツボの場所を説明しながら、抑え方擦り方等を指導して各自で行ってもらおうと、「本当だ！足が温かくなってきた」とか、胃腸不調の時のツボ“足三里”を押してもらおうと「おなかやすいてきた！」と効果を実感していただき、ツボセルフケアの良さを知っていただくことができてとても嬉しく思いました。

実際の避難生活では、きっと慣れない環境下で、腰が痛くなってきたり、眠れなかったり、さまざまな症状が現れてくると考えられます。今回の体験を通して災害時の避難生活における鍼灸師の活動はとても喜ばれ心身をサポート出来ると実感しました。



避難所訓練でのセルフケア指導

オープンチャットを開設しました

昨年より、災害時の緊急連絡網としてラインアプリを使ったオープンチャットを運用しています。昨年末には、オープンチャットを使った災害訓練（安否確認）を行い、2時間以内に23名の安否確認が行えました。災害時、現行では支部長が支部会員全員に電話で連絡するという方法になっており、それでは、支部長自身も被災しているのに、全員につながるまで電話しなければならない、時間がかかりすぎるだけでなく、負担も大きすぎます。いざという時のために、自分自身や会員同士を守るため、ラインをお使いの方は、全員参加をお願いいたします。ラインを使っていない、または事情のある方は、他の方法を考えますので、その旨を会までお伝えいただけませんか？有事の際の備えとしてご協力をお願いいたします。

<参加の仕方>

1. 右の三次元コードを読み込む
2. “新しいプロフィール”で参加をタップ
3. 入力の画面に「会員氏名（登録名） 支部名」を入力後、右上にある”次へ”をタップ
4. ニックネームを入力画面にもう一度「会員氏名 支部名」を入力
5. 右上にある“回答”をタップして、参加承認をお待ちください。



災害活動を通じた地域における顔の見える関係づくり

台風や地震などの災害時に避難所運営や災害支援受け入れの窓口になるのは、各地域に設置されている社会福祉協議会（社協）です。平時より様々な活動や、研修会を行っておりボランティア登録なども行っています。当会は、2020年に、県との災害業務提携を結び、避難所開設時には、被災者やボランティアスタッフなどの健康管理の業務を行います。会員のみなさんはぜひ、お住いの地域の社協に出向いて、ボランティア登録や研修会参加をしていただき、鍼灸師がこういった活動を行っているという事実をお伝えできたいと思います。お一人では心細い方は、同行も可能ですので、お声がけください。平時から、顔の見える関係を構築し、いざという時に備えましょう！



みえ松阪マラソン

令和4年12月18日(日) 松阪市総合運動公園

三重県初となるフルマラソン種目のある「みえ松阪マラソン」が開催され、スポーツ鍼灸セラピー三重として、出走後のランナーたちのコンディショニング、施術を行いました。今まで関わってきたマラソン大会（津、伊勢、名張、松阪）では、出走前のケアが多く、距離もハーフまででしたが、初のフルマラソンでのケア活動という事で、距離に加え寒さと冷えから痛みや不調を訴え訪れる方が多いだろうという予測の元、豪鍼と灸を使用する活動となりました。事前にオンラインで打ち合わせをして準備は万端いざ！当日は、慢性的な肩、腰、膝の痛みから、ランニングによる急性の痛み、筋けいれんなど、色々な症例がありました。ストレッチやテーピングだけでなく、普段の臨床で自分たちが使っている最強のツールである「豪鍼」を使用した活動は、真剣勝負でもあり、しっかり結果が出せたと感じています。また、今回は鈴鹿科学医療大学の学生さんの参加があり見学のほか受付等手伝ってもらい終日わいわいと楽しい活動となりました。

(報告：広報委員会)

[カルテ集計]

施術合計	135名(有効回27名) ※施術スタッフ11名
男女比	男82名 女45名
年代別	20代:9名 30代:102名 40代:39 50代:35 60代7名 80代:4名
居住地	三重県:56名 愛知県:34名 その他:45名
はり治療経験	ある:64名 ない:63名
ケア活動受療経験	初めて:69名 ある:(1~3回20名 それ以上:38名)
金属アレルギー有無	ある:11名 ない:116名
テープかぶれ有無	ある:20名 ない:107名
つらい症状部位	下腿117名 大腿70名 腰43名 膝36名 肩30名 足20 鼠径部20名 臀部14名 背中12名 首9名 上肢3名
処置法	鍼111名 ストレッチ77名 テーピング19名 灸13名
指導	水分補給、ストレッチ、運動、ランニングフォーム、受診案内など

[活動に参加した学生からの感想を紹介します※誌面の都合上一部抜粋]

先生方の話を聞き手技や治療法を見学させて頂いたことで改めて東洋医学について面白いと感じることができました。そして自分の勉強不足さを改めて実感し、それにより自分が苦手としているところや勉強していかなければならないところがよりはっきりわかりました。また、治療現場に立ち会うことで将来自分がどんなところに就職したいかしっかり考えることができ、こんな鍼灸師になりたいという目標ができました。自分の中で今回のボランティアに参加したことは改めて将来のことを考える大きな出来事となりました。学校では見ることがない治療鍼を見ることができたこと、実際に患者さんの硬結を触らせてもらうことができ、教科書や授業で学んだことを手で触れて確認することができ、とても良い経験になりました。本当にありがとうございました。(Y)

マラソンやスポーツ現場で鍼灸をしているのを初めて見ました。待合にもたくさん人がいて、施術時間も7分という限られた時間でした。その限られた時間内で患者さんが「良くなった」「軽くなった」という言葉と共に笑顔を見せていて、素晴らしいと思いました。これができるためにはカルテや患者さんからの情報からすぐに「ここに治療をしなければならない」という素早い判断が治療院以上に必要だということが分かりました。これはたくさん経験を積むことが大切だということを感じましたので、学生のうちから治療はしなくても、治療をしている先生方の見学は、自分の経験になると思います。(H)



～適正な療養費運営に向けての検討～

令和4年度全国保険部長会議は、昨年度と同様に感染症対策のためWEB開催で、健保委員会と地域ケア推進委員会の合同で行われました。まず中村副会長より、6月に改定された療養費の解説と、これまで25回実施されている「療養費検討専門委員会」での取り組みのお話をいただきました。療養費の調査を基に令和6年改定に向けた課題、そして今後の医家との連携も含めた鍼灸師全体のスキルアップは、鍼灸に対する信頼度を上げるため重要であると提言をいただきました。

続いて地域推進委員会より、新事業となる「全国 zoom 行脚」の日程及び内容説明の後、地域包括ケアを進めていくにあたり多職種連携のための交流に関する説明が行われました。

小林健保委員長からは、6月療養費改定に伴う端数取扱いの解説、10月から始まる後期高齢者医療制度の変更点について、そして来年秋に予定されている保険証とマイナンバーカード一体化の見通し等説明があり、各師会の状況及び療養費6疾患以外に支給された病名等のアンケート調査について報告がありました。

本会の「療養費適正運用研修会」では、全国保険部長会議等の情報も詳しく報告していきますので療養費を取り扱っている会員は参加のほど、よろしくお願いいたします。（報告：保険委員長 楠原秀一）

地域ケア説明会（全国地域ケア担当者会議）

令和4年10月30日（日）

～地域の課題解決にできること～

（公社）日本鍼灸師会地域ケア推進委員会の主催による担当者会議が開催されました。

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。このケアシステムに我々がどのように関わっていくのか、地域の鍼灸師から患者へ、師会から市区町村、都道府県への取り組み方についての説明がありました。

地域ケアに参入の方法として、ケアマネージャーと連携し、患者のケアサービス計画表に鍼灸施術の記載や、患者の担当者会議に参加などという進め方があります。しかし、鍼灸師が個々にケアマネージャーと知り合うにはハードルが高いこともあるので、まず、地域ケア活動を行っている市区町村と鍼灸師会として関わりを持つことを提案されました。また、機能訓練指導員、介護予防運動指導員、介護支援専門員、認知症サポーターなどの資格を取得すると、介護予防運動教室、認知症カフェ、デイサービス運営など、活動が可能です。鍼灸院から一歩外に出て、地域のみなさんの健康維持、介護予防事業に参画してみたいはいかがでしょうか？

この「地域ケア説明会」後、11月27日、1月27日に、「地域ケア Zoom 行脚」が開催されました。ここでは、すでに取り組んで成功している地域ケア連携の事例や、反対に障害となっていることや困っていること、地域ケア連携に対する疑問などを全国で共有し、意見交流会を開いています。地域ケア連携に興味があれば誰でも気軽に参加できる企画となっています。興味のある方は申し込んで参加して下さい。（報告：保険委員長 楠原秀一）

地域包括ケアシステムにおける構成要素の図



この植木鉢図は、地域包括ケアシステムの5つの構成要素（住まい・医療・介護・予防・生活支援）が相互に関係しながら、一体的に提供される姿として図示したものです。本人の選択が最も重視されるべきであり、本人・家族がどのように心構えを持つかという地域生活を継続する基礎を皿と捉え、生活の基盤となる「住まい」を植木鉢、その中に満たされた土を「介護予防・生活支援」、専門的なサービスである「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」を葉として描いています。介護予防と生活支援は、地域の多様な主体によって支援され、養分をたっぷりと蓄えた土となり、葉として描かれた専門職が効果的に関わり、尊厳ある自分らしい暮らしの実現を支援しています。

出典：平成28年3月地域包括ケア研究会報告書より

令和4年度東海北陸ブロック会議

令和4年10月9日（日）10日（月・祝）静岡県浜松市

令和4年度東海北陸ブロック会議は、静岡県浜松市で3年ぶりの対面での開催となりました。顔を見ながらの意見交換はやはりWEB会議とは違い、活発に意見交換でき新たな繋がりも生まれました。会議内容を以下に報告いたします。

出席者：日本鍼灸師会2名・富山県鍼灸師会2名・石川県鍼灸師会2名・岐阜県鍼灸師会2名

三重県鍼灸師会3名・（一社）愛知県鍼灸師会3名・愛知県鍼灸師会4名・静岡県鍼灸師会7名

ブロック会議1日目（9日）

東海北陸ブロック師会長会議（ブロック役員について、ブロック会議進行について等）

ブロック会議

第1号議案 日本鍼灸師会状況説明

- ・理事全てが業務執行理事となり、理事会前の意見調整が出来、理事会がスムーズとなっている。・新会館の入居者、管理費などの説明報告。・福岡県での療養費取扱い施術所への助成金可決について報告。

第2号議案 「日本鍼灸師会への質問」回答に対する質疑

- ・会員減少については専門集団として意識を持った会員増強を進めていく方針。・自賠責保険に関しては医療行為としての効果の証明を大学等と協力して行い、エビデンスを構築して国・保険者に提出することを他の案件と共に進める。・違法広告に関しては各地域の保険所での判断として日鍼会の対応は従来通り。・広告検討委員会の次回開催未定。

第3号議案 各県師会事業報告・計画に対する質疑

- ・学術研修会 WEB 開催は、参加増加傾向でもあるが各師会も WEB 開催も増えているため最近は大きな変動はなし。・オンラインに馴染めない会員の為に開催前に入室資料、事前練習を行っている師会もあり。

第4号議案 第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 愛知について

- ・（一社）愛知からの当日スタッフ担当表に希望部署を入力して提出する。・各師会 IT 委員の協力を希望。・ブロック県師会としてできる限り協力することを確認。

第5号議案 その他

- ・労災保険については11月中旬に案内送信し募集開始予定。保険料は給付保障内容によって異なるため目安となる金額の説明が行われた。

ブロック会議2日目（10日）

第6号議案 各県師会からの議案上程

- ・新規会員獲得についての各師会の取組みを確認。・公益事業費50%クリアするための取組みについて各県師会が状況を説明。・ブロック会議資料は一部部長会議と重複資料もあるので簡素化し、他県にない取組みを報告（次回開催までに検討）。

第7号議案 その他

- ・県との災害協定について報告。・災害時の状況確認方法・対応・見舞金について協議。・今後導入される電子申請に伴う療養費申請定率会費減少に対し各師会が対策を報告。・医療関連他業種との連携について意見交換。・会員特典について、フレイル予防対策事業について、各師会の行政との連携事業及び行政からの補助金の有無について。

（報告：会長 岡田賢）



ブロック会議参加者一同



会議風景

令和4年度全国師会長会議に出席いたしました。会議内容をご報告いたします。

出席者は 都道府県師会会長 45 名（代理 5 名）、日鍼会会長、業務執行理事（会長以外の理事）、委員長（日鍼会からの出席者の内 2 名は都道府県会長兼務）

・開会の辞（中村聡副会長）・会長挨拶に続き議案審議開始

議題

（1）会務報告・事業報告等は資料事前配付。各担当者による委員会活動報告の補足説明。

10月30日現在の正会員数 4,259 名、準会員 248 名。

（2）2022 年度ブロック会議報告

会議報告資料は事前配付。中国四国ブロックより補足説明。東海北陸ブロック長より会議資料の件について執行部に質問。

（3）議題関連

ア. 2023 年度行事予定（案）について、執行部から説明。イ. 全国大会について、2022 年度開催担当県師会の（一社）愛知県鍼灸師会会長谷川会長から大会内容説明及び参加者呼びかけ依頼。2023 年度全国大会開催地は大阪府泉佐野市で近畿ブロック府県師会での共同開催（各師会が 1 箇所ずつブースを担当）で近畿ブロック長滋賀県師会会長が趣旨（学術・普及をコンセプトに）を説明。2024 年度は福岡県に依頼。ウ. 労災特別加入について、組織担当理事が説明。11 月 7 日より順次加入受付開始。エ. 2023 年代議員総会会場について、今年度中に決定し各県師会に連絡。オ. 代議員選挙・役員選挙について、担当者が説明。カ. サーバー移行の件について、IT 委員会が説明。

（4）2022 年度全国師会長会議質問・意見・要望事項について 事前資料配付。宮城県師会から準会員制度について追加質問。ア、政治連盟設立方法等について福岡県師会古賀会長が説明。政治連盟を持たない県師会に設立方法及び連盟活動内容を説明し早期設立を促す。

（5）その他 ア、学術部長会議のアンケート結果について イ、NELS 受講奨励について ウ、新学術研修単位管理システム（NGK）の免許保有証活用について、学術担当理事が生涯研修制度も含め内容を説明。エ、2021 年度免許保有証交付申請件数について、組織担当理事が説明。オ、マイページ登録への協力依頼について カ、日本鍼灸新報のメール配信について、研修 IT 担当理事が説明。現在 2833 名が登録済だが、再来年 1 月から新報のメール配信を予定しているのでそれまでに登録するよう各都道府県師会に依頼。キ、労災保険による鍼灸施術について、療養費担当理事が説明。鍼灸単独施術と医療との併用の 2 種類ある（労災保険の手引き参照）。ク、賠償責任保険について、各都道府県師会事務所に案内送信済み。ケ、準会員制度について、組織担当理事が①学生 ②養成校教師 ③開業 3 年以内の鍼灸師は 3 年間会費無料等の準会員規程について説明。日鍼会登録時に各都道府県師会にも同時登録が望ましい。コ、電子カルテの標準参照使用の策定会議について、鍼灸流派を超えてのビッグデータ作成を目指し 10 回以上策定会議を重ねていることなど南副会長が説明。サ、新会館について、資産防衛としてマンションを建設した旨を南副会長が説明。シ、自民党への要望について、① ICD11 伝統医療専門担当部署の設置 ②電子カルテ作成補助金 ③災害現場における自衛隊への鍼灸施術 を要望したことを仲野連盟委員長が説明。

（報告：会長 岡田 賢）



令和4年度 第2回理事会報告

日 時：令和4年8月28日（日）13：00～16：00

場 所：オンライン（Zoom）

出席者：10名

【決議事項】**第1号議案 事務職員の給与（時給）の件**

三重県の最低賃金改定に伴う職員の時給引き上げ実施は10月1日からであるが本会では給与計算の都合上9月21日からとして変更後の時給額は950円とする。職員の在宅ワーク及び会議等へ理事代理で出席した場合の旅費は就業規則及び旅費規程の通り支払う。

第2号議案 東海北陸ブロック会議の件

10月9（日）～10（月祝）静岡県担当で開催。会議資料及び質問、要望等は8月30日までに会長へ提出し担当師会長へ送付。出席は正副会長3名で調整する。

第3号議案 会館2階の音響機器設置の件

会館の音響設備が老朽し不具合が生じるため、新しく設置をする。音響設備はサカイフォトラボに発注し費用は鍼灸マッサージ師会と折半する。会館修繕積立金を取崩し費用に充てる。

第4号議案 継続審議事項の件**（1）研修会受講料等の電子決済導入の件**

電子決済導入について、クレジット決済代行会社及びクレジット、QRコード決済の3種で協議した結果、支払い方法が多く、イベント（研修会）告知、集金、イベント前後フォローがサイト上で行える上、設定及び利用が比較的簡単なイベント代行サービス peatix を三県合同研修会で試験的に導入。手数料0は4.9%+99円（会費3000円の場合は246円）。アカウントに必要な事項は事務所とする。

（2）災害時連絡網訓練の件

会員の安否確認及連絡のため使用する手段として従来の電話やメールの他に LINE のオープンチャットの登録を会員に呼びかけ緊急時に機能するか否か訓練を兼ねて確認する。LINE 等の連絡系統は松山理事が担当する。

9月に行われる支部長会議でも再度周知し協力を求める。引き続き他の方法による情報収集や連絡方法も検討していく。

第5号議案 議案上程を含むその他の件

（1）第46回死の臨床研究会大会の後援依頼の件
大会長の松原貴子先生には、研修会講師でお世話になっていることもあり理事メールで確認を取

った結果、反対はなかった。締め切りの都合もあり事務所より承諾書送付済。

（2）鹿の解剖実習開催の件

3月後半に計画していた鹿の解剖実習は長野県師会と日程が合わず来年度以降に延期。

（4）全国大会のスタッフ協力の件

会場、ウェブ配信、クイズ大会（青年）、要請があれば調整し協力する。

（5）災害訓練用資料提供依頼の件

防災訓練時展示用に矢津田日鍼会危機管理委員長に活動記録資料の提供を依頼する。

令和4年度 第3回理事会報告

日 時：令和4年11月6日（日）13：00～15：30

場 所：オンライン（Zoom）

出席者：9名 欠席者：1名

【決議事項】**第1号議案 令和4年度下半期事業の確認調整の件**

今年度最終となる研修会は1月29日辻内敬子先生。11月5日に辻内先生とオンラインで打ち合わせ（松山理事）。依頼状等書類はPDF化しメールで送受信する。また、コロナ感染増加傾向を鑑みオンラインでの開催（実技映像あり）とし、多数の参加を募るためSNS、全国師会長メール等で告知を行う。その他の委員会では進捗状況を確認し計画通り事業を進める。

第2号議案 5年度事業計画及び収支予算の件

各担当理事は事業計画策定整理表を年内に提出し財務は予算案を2月理事会資料として提出。

第3号議案 議案上程を含むその他の件**（1）災害時支援活動準備の件**

県の防災訓練に参加を機に危機管理業務を設置し瀧本理事が担当。地域連携、受援体制等に取り掛かる。災害支援ネットワーク等に参画できるよう社協ボランティア登録・研修会に参加し行政・地域との繋がりを形成する（現在伊勢、名張地区が活動しているが今後は県内で拡大していく）広域災害の場合、マッサージ師会と災害支援活動を分担することもある。両会で情報を共有し必要に応じて協議していく。

（2）旅費規程見直しの件

休日平日及び時間区分等見直し5年度予算に反映。

（3）愛知全国大会スタッフ要請の件

（一社）愛知県鍼灸師会からスタッフ追加要請は、めおといわメールで会員へ通知したが参加者が少ないため本会役員で分担する。（承認）

「福岡啓考先生を偲んで」

命日：令和4年12月7日（享年66歳）

「スポーツ鍼灸セラピー三重は、鍼灸セラピーやのに灸はせんのかな！？」20年程前、セラピー三重説明会での啓考先生の一言です。“怖っ！！”これが啓考先生の第一印象でした。

研修会や意見交換会で何度か一緒にするうち、ちょっと優しいお顔で「ご苦労さん」、4、5年前からは笑顔で「お疲れさん！会務大変やろ！」とお声をかけていただくようになりました。

お父様ご逝去の際には、供花の御礼にわざわざお電話をいただき、お父様のお話をさせていただいたのが思い出されます。療養のため休会されていましたが、啓考先生とはもっとお話をし、業界へのアドバイスをもらえば良かったと残念でなりません。物静かで優しいお人柄を感じる先輩でした。ご家族には心よりお悔みを申し上げますと共に啓考先生のご冥福をお祈り致します。
(岡田 賢)

青蓮寺湖駅伝大会スタッフ募集！

コロナ感染拡大防止の観点から、残念ながら津シティマラソン、お伊勢さんマラソンはケア活動が中止となりましたが、青蓮寺湖駅伝大会は活動を行います。

若干名の募集となりますが、参加いただける方は、事務所までご連絡をお願いします。

- ・会 場：青蓮寺湖左岸（名張市青蓮寺）
- ・大会概要：約100チームが出走（約1000名）
- ・日 程：2月25日（日）（7時準備開始、8時ケア開始、13時終了）
- ・参加締切：2月18日（月）



表紙写真「長太(なご)の大クス」

鈴鹿市南長太町に自生する、樹高約23m、樹齢1000年を越えると言い伝えられているクスノキです。周囲が広大な田園に囲まれているため見通しが良く、近鉄名古屋線の車窓からも遠望できる巨木は、ひときわ高くそびえています。

嘉永年間(1848～53)の「勢国見聞集」の名木之部に「河曲郡北堀江村 楠 当村の西の方にあり 是を大木神社と云 式内の社なり」とあり、楠の木そのものが神社であったようです。1963(S38)年1月11日に県の天然記念物に指定されました。また、2012年には三重県下では初となる、「景観重要樹木」に指定されました。(観光三重より抜粋)

田園の風を感じながら大木を見上げ、あれこれ想いを巡らせる…。豊かな時間になりそうですね。

編集後記

2022年はロシアの侵攻から始まり、世界が非常に不安定な一年となりました。普段は能天気にも暮らし、深く考え事をしない私ですが、開業10年を迎え「事業計画」を作成する機会があり、カルテや経営データを見直し、今自分に必要な事、今後どのように進んでいくべきかを考え直す貴重な時間となりました。古代ギリシャのプラトンは言いました「石工はみんな知っている。小さい石もないと、大きな石だけでは石垣は上手に積み上げられない」ほんのひとかけらの小さな私ですが、その役割に誇りをもって家族に、社会に接していきたいと思います。そんな事を考えていた大晦日の朝には姉が、クーデターの起きかかっている南米ボリビアへと帰って行きました。(T)

一般社団法人 三重県鍼灸師会 会報 第131号 (令和5年2月1日発行)

発行者 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 岡田賢
〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地
電話 059-227-3345 e-mail harikyuu_mie@vesta.ocn.ne.jp
発行責任者 瀧本 一 (広報委員長)
表紙写真提供 三重フォトギャラリー

東京海上日動のトータルアシストからだの保険（所得補償）

☆所得補償は ケガや病気で働けない期間 あなたの所得を補償する保険です☆

■業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中のケガ・病気で
仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

■入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年 保険金額(日額)		お支払いいただく保険料					
所得 補 償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)	ご契約年齢 お支払い方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
		月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
		年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者（保険の対象となる方）の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額（日額）は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度（国民健康保険またはそれ以外）によって保険金額の設定が異なります。」

■返れい金のお支払いはありません。（2013年10月改定）

■ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただくことがございます。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただくことがございます。

「トータルアシストからだの保険（所得補償）」は傷害総合保険（所得補償条項）のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険（所得補償）の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり（約款）』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

《お問い合わせ先》

◇取扱代理店：株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

住所：〒510-0085 四日市市諏訪栄町5-16-2F

TEL/FAX：059-350-2433

◇引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 三重支店 四日市支社

住所：〒510-8515 四日市市鵜の森1-3-20萩ビル6F

TEL：059-354-8613

ELIPEAS

エリピース



4本入り集合包装



刺入深度が浅い部位への施術に適した鍼

セイリン初
鍼長7mmの
プラスチック鍼柄

刺入深度が浅い部位への使用に適した鍼
J15SPで施術しにくい部位への
アプローチが可能

ノンシリコン

鍼柄の軽量化
軽量・コンパクト
(約0.03g (羽毛相当))

No.	03	02	01	1	2	3
カラーコード	ロイヤルブルー	ダークグリーン	グリーン	レッド	アイボリー	スカイブルー
線径(mm)	0.10	0.12	0.14	0.16	0.18	0.20
線長(mm)	7	7	7	7	7	7

■ELIPEASはセイリン株式会社の登録商標です。(登録番号:第6292197号)
■特許第6864800号

管理医療機器 セイリン鍼[滅菌済み鍼]
医療機器認証番号 15500BZZ00805000

※鍼の開封方法は製品箱の中面をご覧ください。

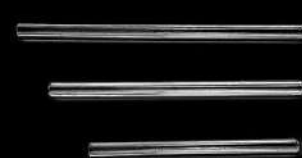
ご使用に際しては、添付文書をよくお読みください。弊社HPの商品案内からもご覧いただけます。



■フリーダイヤル(通話料無料)はコチラから ■詳しい情報は、当社Webサイトでもご覧頂けます
0120-100890 <https://www.seirin.jp/>
【製造販売業者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139



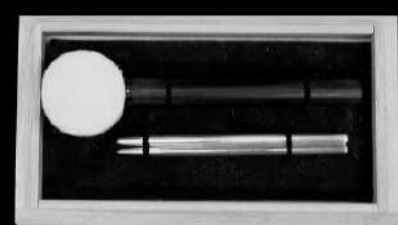
証刀鉞 99mm 鋼焼き入れ
証問鉞 99mm 銅



杉山流復刻銀管 純銀 (極太銀管)



森本式てい鉞セット 金(18K)・純銀・銅・亜鉛



打鉞セット 4Φ×85mm

鉞・灸・鉞灸周辺機器、用品等
てい鉞のことなら



イトウメディカル
I T O M E D I C A L

〒500-8841
岐阜県岐阜市高野町5-18

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より 徒歩約8分
駐車場完備

TEL (058) 266-4598
FAX (058) 266-7060
HP <http://itohari.com/>
ネット注文 <http://itohari.shop/index.html>
E-mail ito.hari@tiara.ocn.ne.jp



HP



オンラインショップ

今度は、後押しする人に。

Nudge(ナッジ)とは「そっと後押しすること。怪我をしたとき、挫けそうな気持ちをそっと後押ししてくれた治療院の先生みたいに、
「今度は、私が後押しする人になりたい!」——中和には、そんな先輩が大勢学んでいます。

Good
Nudge!



Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園
中和医療専門学校
Chuwa Professional Training College of Medical Care
(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程
あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)
はり、きゅう科(専科)
柔道整復科I部(昼間部) 柔道整復科II部(夜間部)

〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81
TEL 0587-23-5235
FAX 0587-23-5237
www.chuwa.ac.jp
Webサイトはこちら



日本初の4年制
医療系大学



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

医療・福祉の総合大学でスペシャリストをめざす。



保健衛生学部

- 鍼灸サイエンス学科 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸学専攻
- 放射線技術科学科
- 医療栄養学科 管理栄養学専攻 ※1
臨床検査学専攻 ※2
- リハビリテーション学科 理学療法学専攻
作業療法学専攻
- 医療福祉学科 医療福祉学専攻
臨床心理学専攻

保健衛生学部

- 救急救命学科

医用工学部

- 臨床工学科
- 医療健康データサイエンス学科

薬学部

- 薬学科

看護学部

- 看護学科

大学院

- 薬学研究科 医療薬学専攻
- 医療科学研究科 医療科学専攻
・東京サテライト
(社会人コース)

※1 2023年4月 医療栄養学科管理栄養学専攻を
医療栄養学科に改組（名称変更予定）

※2 2023年4月 医療栄養学科臨床検査学専攻を
臨床検査学科に改組（名称変更予定）

※1 ※2 内容は予定であり、変更する場合があります。

■ 千代崎キャンパス（保健衛生学部・医用工学部）

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001 番地 1
TEL: 059-383-8991 FAX: 059-383-9666

■ 白子キャンパス（保健衛生学部 救急救命学科・薬学部・看護学部）

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3
TEL: 059-340-0550 FAX: 059-368-1271

2019年4月開設 鍼灸サイエンス学科「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」



多くのスポーツ選手がケガの治療として、またコンディションを整える手段の一つとして鍼灸を利用しています。また、健康ブームの影響で筋力トレーニング、ジョギング、ヨガなどを実践している方も多くなり、それに伴い鍼灸治療の受診者数も増加しています。このような背景のもと、2019年度より鍼灸サイエンス学科ではスポーツの専門知識を兼ね備えた鍼灸師を養成する「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」を開設しました。日本トレーニング指導者協会（JATI）と全米ストレングス&コンディショニング協会（NSCA）の2団体のスポーツトレーナーに関する資格の受験資格が得られます。トレーナーの資格を得ることでスポーツ選手や健康運動を実践している方への鍼灸治療、リハビリ、さらにはコンディショニングといった面できめ細かい指導を行うことができます。



トレーニングルーム

運動学、トレーニング指導法などのスポーツに関連する教養と技術を身につけられるように、千代崎キャンパス内にトレーニング施設を設置

メイプル名古屋の

CSS

治療家
支援
サービス

Chiryoka Support Service

サービス

鍼灸院の課題を解決するお手伝いをします！

鍼灸用品を購入するなら



鍼灸院医療用品の総合パートナー
株式会社メイプル名古屋
www.maiple-nagoya.com

メイプル名古屋

検索

取り扱い商品数 5,000 点以上！
最短で丁寧に心を掛けています。
業界で1番お客様から喜ばれ、
信頼される会社を目指します！



鍼灸院の HP をつくるなら



鍼灸院専用エンジン
MAIPLE CMS

月額 12,800 円(税別)から始めるHPサービス！

↓ 詳細・お申込みは ↓

- ・選べるデザイン
- ・誰でも簡単に編集できる
- ・患者さん目線のフォーマット
- ・今の HP のまま管理代行も◎



ポータルサイトで集客するなら

鍼灸院のためのデザイン

メイプル名古屋の
バナー制作

制作事例紹介
メイプル名古屋デザイン部
Instagram



サービス紹介ページ



セルフケア物販を伸ばすなら

Harikyu Mall

鍼灸師さんがおすすめする通販サイト

患者さんと先生をつなぐサービス
院内物販をオンライン物販へ

はりきゅうモール
患者さん向け通販サイト



お申込みフォーム
登録治療院



鍼灸院医療用品の総合パートナー
株式会社メイプル名古屋
MAIPLE NAGOYA

ハリキュウ ナゴヤ
0120-869-758
受付/9:00-18:00 定休/第1・第3土、日祝

E-mail : info@maiple-nagoya.com
https://www.maiple-nagoya.com/

もぐさんの 箱きゅう

MOGUSAN'S MOXA BOX
STARTER SET



詳しくは
WEBで！



煙・ニオイのでない 専用炭化もぐさ

50粒がセットで付属



- 驚きの火付きの良さを実現
- 特許出願中の独自製法

100%もぐさのみを原料に使用しているので、もぐさそのままの火付きの良さ。燃焼中も煙がでないので場所を選ばずご使用頂けます。



程よい温感を実現する



セラミックボード を本体底面に設置

熱源から出ているあたたかさの源「遠赤外線」を肌まで程よく伝えるセラミックボードを採用しました。

その他のポイント

温感を調節する 回転式通気口



灰の処理がスムーズ メッシュかご



より広い範囲へ施灸できる 箱きゅう連結機能



セット品 もぐさんの箱きゅう



箱きゅう本体、炭化もぐさ（50粒）、タオル、ピンセットなどが付属したお得なスターターセット。

別売 専用炭化もぐさ



炭化もぐさ100粒を単品で用意しております。

＜「もぐさんの箱きゅう」仕様＞

【サイズ】高さ約100mm、幅約110mm / 【重量】約300g

【温感持続時間】約20分（専用炭化もぐさ1粒を使用した場合）

【材質】箱灸本体（天然ヒノキ材）
セラミックボード（陶磁器）
メッシュかご（ステンレス）

